



公益社団法人  
奈良県理学療法士協会

The NARA Physical Therapy Association News  
奈良県理学療法士協会ニュース

第141号

平成25年10月25日発行

発行：奈良県理学療法士協会ニュース編集部  
編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科  
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1  
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内  
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）  
ホームページ：[http://www11.ocn.ne.jp/~nara\\_pt/index.html](http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html)



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
生涯学習部からお知らせ	3
専門勉強会 発達障害児・者勉強会 第3回特別講習会ご案内	5
平成25年度第1回研修会 ～印象記～	6
専門領域勉強会 第1回特別講習会に参加して	7
第2回 介護予防推進セミナー 印象記	8
平成25年度第1回定例理事会議事録	10
平成25年度第2回定例（拡大）理事会議事録	11
（公社）奈良県理学療法士協会 平成25年度 役員名簿	13
賛助会員一覧・会員数・施設数動向	15

## 巻頭言



理事 西田 宗幹

今年度は当協会にとって色々と変革の多い一年となっています。まず、4月から「公益社団法人 奈良県理学療法士協会」として新たにスタートしたこと。その次は参議院議員選挙。我々の団体が初めて立候補者を擁立し、「選挙活動」を全国の理学療法士が協力して実施しました。その結果、理学療法士として初めての参議院議員が誕生しました。奈良県においても5月に講演会を開催、二日間施設訪問を実施させていただきました。その節は、お忙しい時間にかかわらず、時間をとっていただいた各施設の皆様、本当にありがとうございました。私は二日目に同行させていただいたのですが、本当に大変な仕事であると同時に、「何かを変える」という強い意志がないとできない職業であることを、身をもって感じることができました。微力ながら協力させていただいたことで、今までで最も緊張し、歓喜して開票速報を見ることになりました。開票後、奈良県の投票状況など確認した結果まだまだ組織力の低さを身に染みて感じ、今回の反省を次の選挙に生かせるよう色々と検討していきたいと思います。引き続きご協力よろしく申し上げます。

また、今回当選した議員には高齢化を迎えるこれからの社会の中で、我々理学療法士が本当に必要であること等、国会を通して訴えていただければと思います。その為の議員ですから。

そして、今年奈良県理学療法士協会は法人化20周年をむかえることとなります。これを記念し、11月に奈良市にありますホテル日航奈良において「法人化20周年記念式典・祝宴」を開催いたします。諸先輩方が奈良県における県民の医療・保健・福祉の増進への寄与を目的に、また理学療法士の社会的地位向上のためご尽力いただき「法人化」となり、今日まで継続し、今年「公益社団法人」へ移行することができたのも、会長をはじめ、奈良県士協会会員みなさま一人一人のご協力のおかげです。

私自身は、正直そのころ「法人化って何？法人化することで何か変わるの？」と自分自身は全く理解できていませんでした。年を取りその必要性が少しずつ遅ればせながら、やっと理解できるようになりました。

今後も県民の皆様の為、より一層の努力を重ね「理学療法士がいてくれ本当に良かった」と言っていただけのように、皆さんと協力し協会活動に努力していきたいと思っております。

式典に関しましては後日、HPなどを通して詳細をお知らせいたしますので、ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



生涯学習部から

お知らせ

第三回新人教育プログラムセミナーを下記の通り開催します。

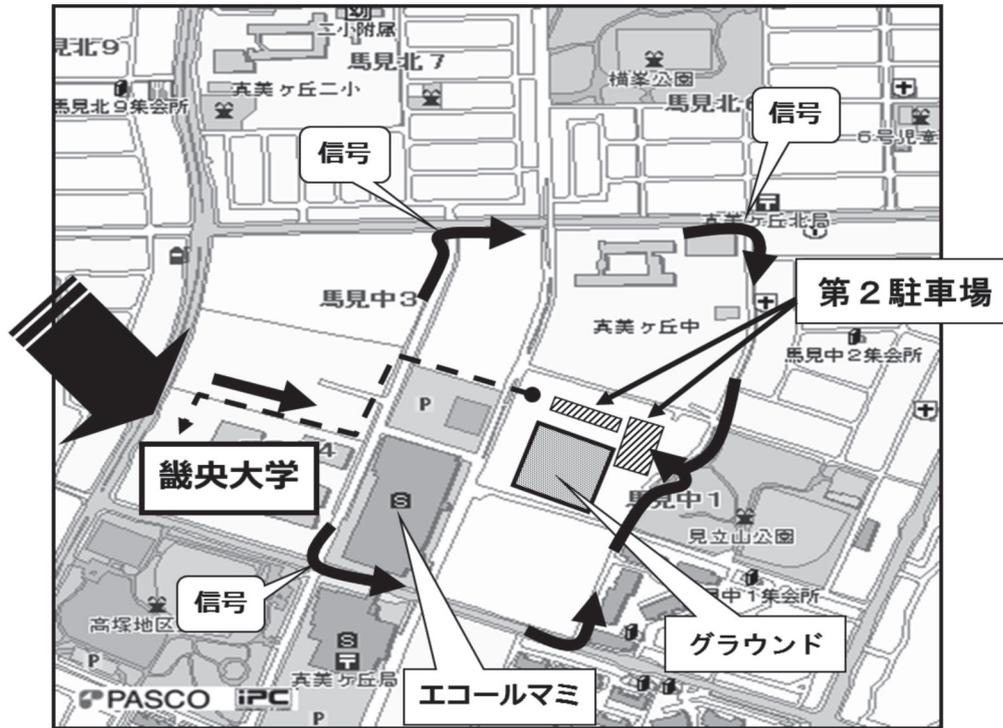
日時： 平成25年12月8日（日）9:30～15:15  
場所： 畿央大学 KB04教室  
所在地： 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2  
TEL： 0745-54-1601  
参加費： 奈良県理学療法士協会 会員： 各テーマ1000円（計4000円）  
非会員（他府県士会員を含む）： 各テーマ2000円（計8000円）

【内容】

- 9：30～9：40 受付
- 9：40～9：45 オリエンテーション
- 9：45～10：45 『生涯学習と理学療法の専門領域』  
（旧テーマ：生涯学習と理学療法の専門領域）  
田平 一行先生 畿央大学
- 11：00～12：00 『臨床実習指導方法論』  
（旧テーマ：理学療法の教育方法論）  
藤田 浩之先生 白鳳女子短期大学
- 12：00～13：00 昼食（60分）
- 13：00～14：00 『症例報告・発表の仕方』  
（旧テーマ：症例検討Ⅰ）  
小寫 康介先生 西大和リハビリテーション病院
- 14：15～15：15 『理学療法の研究方法論(EBPT)』  
（旧テーマ：学問としての理学療法と研究方法論）  
中村 潤二先生 西大和リハビリテーション病院

- 当日、会員確認を行いますので、必ず会員証を持参し、提示してください。  
なお、平成25年度に新しく入会される方は、セミナー開催2週間前までに入会申請を完了させてください。新入会申請が終了している方は、会員証（会員番号）がなくても参加（会員料金）が可能です。
- 平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。日本理学療法士協会ホームページよりログインするマイページにて履修状況を確認の上、お間違いのないように受講してください。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。
- 近鉄五位堂駅からバスにて、馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。

# —幾中央大学 第2駐車場案内図— (当日の駐車場になります)



▨が駐車スペースになります。

申し訳ありませんが、大学までは破線のコースを徒歩でお越してください。

□ 問合せ先：

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎

〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6

TEL (0745)71-6688(代) FAX (0745)71-1111

E-mail 生涯学習部 s.nishiyamoto.reha@gmail.com

## 専門勉強会 発達障害児・者勉強会 第3回特別講習会ご案内

日時：12月14日（土）14：00～16：00

場所：青丹学園 南館3階実習室

参加費：会員1000円 非会員1500円

テーマ：「シーティングについて」

障害児・者における車椅子の座位姿勢について、実際に座面のクッション作りを通して考察する。

講師：ヤマト工房 竹上 隆先生

障害児・者に携わっていない先生方も病院内、施設内における車椅子座位の不良姿勢についてのご参考になればと思っていますので、勉強会会員外の先生も是非ご参加いただきたいと思います。ウレタンチップを削りますので、平服でご参加下さい。

申し込み方法

①氏名②所属③連絡先④会員 または非会員

上記をE-mail [furukawa@seitan.ac.jp](mailto:furukawa@seitan.ac.jp)

まで申し込んでください

申し込み締め切り11月30日（土）

材料の調整が有りますので、早めにご連絡下さい。

## 平成25年度第1回研修会 ～印象記～

日 時：平成25年7月28日（日）  
会 場：畿央大学 KB04教室  
テ ー マ：「根拠に基づく理学療法評価指標の実践」  
～すぐに臨床へ活かせる評価指標の知識と有効利用法～  
講 師：徳久 謙太郎 先生（西大和リハビリテーション病院）  
参加人数：49名（会員49名 他府県士会2名 非会員0名）



### ～印象記～

今回の研修会では、西大和リハビリテーション病院の徳久謙太郎先生をお招きして、『根拠に基づく理学療法評価の実践～すぐに臨床に活かせる帰結評価指標の知識と有効利用法～』というテーマで講義していただきました。今回のテーマは、『すぐに臨床に活かせる』というサブテーマがついていた為か、若い先生の参加が多いように感じられ、非常に熱気のある講習会でありました。

研修では前半で帰結評価指標の基礎知識や特性等について詳しく説明していただきました。私自身は、評価指標の信頼性や妥当性についてあまり疑問を感じたことがなかったのですが、先生の講義を聞いている内に『そういうことか』と納得できる点が多く、今までと違った視点を持つことができたように思います。

後半では、理学療法に使える様々な指標を紹介していただきました。また、その特性やカットオフ値を示していただきながら、実際に模擬患者様で演習を行ない、適した指標の使い方、解釈の仕方までを勉強することができました。

私自身演習を行うなかで、今まで使っていた指標の知らなかった側面や、今まで使っていなかった指標でも是非使ってみたい項目を勉強することができました。そして、翌日より早速臨床現場で活用させていただいております。

根拠に基づく理学療法が謳われておりますが、今回の講習により今まで蓄積されてきたデータを活用する重要性をより一層感じる事ができたのではないのでしょうか。

最後になりましたが、ご多忙の中ご講義いただきました徳久先生に深くお礼申し上げます。

（研修部 川畑 昌俊）

## 専門領域勉強会 第1回特別講習会に参加して

東大寺福祉療育病院 田中 耕嗣

平成25年6月8, 9日の二日間にわたり「大腿骨頸部骨折を中心とした股関節周囲の評価及び治療」をテーマに開催されました。講師は、整形外科リハビリテーション学会理事、特別上級指導員AAAの松本正和先生、アシスタントは、熊谷匡晃先生、猪田茂生先生、近藤秀哉先生です。当日は、梅雨時期にもかかわらず晴天に恵まれました。

初日は最初から最後まで「触診」に時間を掛けてしっかりと実技も交え講習していただきました。松本先生は話し方もとても上手で聞きやすく心地よく講義に聞き入っていました。すると先生から、大腿骨のスケッチをするようにとの指示がありました。今まで沢山の症例を担当してきたにもかかわらず予想外に難しく上手く書くことができませんでした。特に細かな部分、解剖学的指標など忘れてることが多く、自分は解っているつもりになっていたのだなと痛感しました。また、先生方は関節を3Dで捉えるようにとおっしゃっていました。確かにこれがしっかりと出来ていればスケッチももっと上手く書けたのだらうと思います。初日は、自分の知識の再確認・反省点に気付かされた一日でした。

講習会二日目は、評価・治療を中心に実技を交えて講習いただきました。如何に触診の技術が重要か改めて実感いたしました。また、この技術をどう臨床で活かせるか常に考えて二日目の講習会が終わるころには少し疲れました。

個人的に印象に残った事は、クリニカルパスを導入している病院が多いが、もっと個人を診るべきだと講師の先生が言っておられたのが残っています。

今回の講習会は、若い先生方が多く熱心に勉強している姿勢を見て私もとても良い刺激になりました。これを機に、自分自身の更なるスキルアップはもちろんのこと奈良県士協会の技術向上に繋がることと確信いたしております。

最後になりましたが、講習会開催にあたりご尽力いただきました奈良整形外科リハビリテーション勉強会代表の築崎先生はじめスタッフの先生方に深く感謝いたします。二日間、ありがとうございました。



## 第2回 介護予防推進セミナー 印象記

介護保険部では去る7月14日（日）に、今回で2回目となる介護予防推進セミナーを開催致しました。第1回目は昨年12月に開催致しまして盛会のうちに終える事ができました。今回2回目も36名の受講者を集めて開催する事ができました。

今回も行政から奈良県長寿社会課 課長補佐 井勝 昭彦さまにお越し頂き『奈良県が目指す地域包括ケアシステムとは』と言うタイトルで、奈良県の現状と地域包括ケアの概要をお話し頂くと共に、実際に取り組まれている事例についてお話しして下さいました。

また、秋津鴻池病院の西田先生に山間部で取り組まれている介護予防事業を、その失敗談も交えて…西大和リハビリテーション病院の北別府先生には生駒市での介護予防事業に参画しての動きなど…お二方から具体的な体験をお話し頂いた上で、シンポジウムを開催する事ができました。

最後には、参加頂いた先生方と講師の先生方を交えてディスカッションの場が設けられ、これからの介護予防と地域包括ケアに関して活発な意見交換が行われました。

今回、参加頂いた作業療法士および理学療法士の先生から印象記を頂きましたのでご紹介いたします。我々セラピストが、奈良県に住まう皆さんの健康に資する事ができる様に、次年度も第3回介護予防推進セミナーの開催を予定しておりますので、振るってご参加頂きたいと思っております。

介護保険部 部長 櫻井 公統



### セミナー印象記①

西の京訪問看護ステーションかがやき  
作業療法士 谷岡 恭子

「地域包括ケアシステム」という言葉を耳にする機会にはありましたが、背景や理念、体制については勉強不足の点が多く、今回具体的にどのように地域で機能していくものなのか、そこに作業療法士としてどのように貢献できるのかを学ぶべく「第2回介護予防推進セミナー」に参加させていただきました。特別講演の「地域包括ケアシステムの構築に向けた奈良県の取り組み」、シンポジウムでは「地域の特性から見た介護予防のあり方とセラピストの役割」、最後に「セラピストの役割」を題としたグループディスカッションととても内容の濃いセミナーとなりました。奈良県内の高齢化率や将来推計などを具体的な数値で示していただき、地域差が大きいためその地域の特

徴にあった関わりが必要であることを実感しました。またその「地域」は「中学校区」の規模であることが理想とされており、それぞれの地域の腕の見せ所であると同時に、取り組み次第によっては大きく地域格差が出てしまうリスクがあると感じました。「地域包括ケアシステム」は数値化した評価がしにくく、行政としてもどこまでやったら「出来た」といえるか、「完成型」は何なのかはまだまだ模索段階であるということでした。漠然とですが、模索段階である今の時期にセラピストがどのように貢献していくことができるのかを示すことが重要であると感じました。私は訪問看護ステーションで働いているため、まずは現在、包括支援センターから依頼のあるケースに対して、公的サービスだけでなく地域の中で様々なコミュニティを利用して、個別性に富んだ生活が行なっていけるような関わりがもてるように、またそれを包括支援センターのスタッフの方と共有できるように一歩ずつ前進したいと思います。このようなセミナーを開催して下さった奈良県理学療法士会介護保険部の方々に感謝致します。

## セミナー印象記②

介護老人保健施設サンライフ奈良

理学療法士 川畑 知博

第2回介護予防推進セミナーに参加し、初めに奈良県健康福祉部長寿社会課の井勝昭彦講師より「奈良県が目指す地域包括ケアシステムとは」をテーマにお話しを聞かせていただきました。奈良県の高齢化の状況などの説明もあり、医療、福祉サービス等にも地域差が非常に大きいことまた五條市大塔町でのモデル的な取り組みの話聞き地域包括ケアシステムを構築する一つの方向性は感じる事が出来ました。

また山間部の介護予防に関する話をPTの西田先生、都市部の介護予防の話をOTの北別府先生から聞かせていただきシンポジウムを交えてここでも地域差が大きいこと再認識しました。

最後のグループディスカッションも私の参加した班では行政、教育機関、現場で業務するPTと3つの目線からの活発な意見交換ができ時間が足りないくらい非常に盛り上がりました。

奈良県の地域包括ケアシステムはまだ完成形はみえていないというのが今回のセミナーに参加しての感想です。これからはもっと理学療法士として出来る事を他職種、行政にアピール、発信し、より良い地域包括ケアシステムの構築する為の一端を担えればと感じました。

最後になりましたが、お忙しい中、講演していただいた講師の皆様には深くお礼申し上げます。

参加人数 36名

内訳 (PT:31名 OT:4名 県職員:1名)

# 平成25年度第1回定例理事会議事録

日時：平成25年4月13日（土） 14：45～17：30  
場所：奈良県理学療法士協会 事務所  
出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、西田、松村、  
廣池、田平  
財務部：布上、枡  
監事：北村、中俣  
議事録署名人：佐藤、西田  
欠席者：中村、中西  
書記：中野  
議事：1. 会長行動報告  
2. 会員異動承認  
3. 各局・各部・委員会報告  
4. その他

## 1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 3/14 20周年事業準備委員会 第4回会議
- 3/19 畿央大学 卒業式
  - ／19 公益法人移行認定書 受理
  - ／30 事務所年度末大掃除
- 4/1 調整会議
  - ／2 畿央大学 入学式
  - ／7 自由民主党奈良県連 「結束の集い」（代理：中村）
  - ／7 白鳳女子短期大学 入学式、学校法人西大和学園 観桜会
  - ／9 奈良リハビリテーション専門学校 入学式
  - ／9 関西学研医療福祉学院 入学式（代理：西田）
  - ／10 山口後援会幹部会
  - ／13 定例理事会 第1回

## 2. 会員異動承認

平成25年3月10日から4月13日までの会員異動が理事全員に承認された。

## 3. 各局・各部・委員会報告

- 1) 会計について（北村監事）
  - ・税理士より近畿学会の税金の支払いに関し、不適切との指摘がある。  
⇒近畿ブロックで検討し、6年の間で源泉徴収しない形へ変更する。
  - ・分担金、負担金、会議費に対し、所属を設けたほうが、会計ソフトでの取り扱いは行いやすい。  
⇒以下の分担金、負担金、会議費に対し所属が決められた。  
近畿学会分担金：生涯学習部

なら介護の日負担金：理学療法啓発部  
3団体合同訪問リハ実務者研修会負担金：介護保険部  
理事会等の会議費：総務部

- ・税理士より専門領域委員会の会計処理の仕方について、公益法人として3万円の負担金のやり方には問題あり、研修部と同様に全ての収支に財務部が入る必要があるとの指摘があった。  
⇒本会より共催という形で協賛金（3万円）を出す。講師料は勉強会から全額支払い、講師が源泉する形とする。また、協会のポイント加算を考慮して、協会へ申請する際は、奈良県理学療法士協会の主催という形で申請する。
- ・賛助会員の富金原義肢、日本メディックス、川村義肢より未納分の納入があった。テクノブレースは1年未納の状態である。
- 2) 3団体合同訪問リハビリテーション実務者研修会（佐藤理事）
  - ・1/20と2/3の2日間、青丹学園にて開催され、今回は奈良県言語聴覚士会を中心に企画・運営した。参加者はPT11名、OT5名、ST8名の計24名であり、PT士会の負担金は29,609円であった。研修内容としては、救急法短期講習を日本赤十字社奈良県支部の協力のもと行ったほか、訪問リハビリテーションに関わる制度や看護師によるフィジカルアセスメントの講義、各職種間の連携等についても講義やグループワークを行った。
  - ・訪問リハ地域リーダー育成会議について、これまで佐藤理事が3年間出席してきた。5月の会議に佐藤理事が出席できないことと後任について介護保険部と相談した結果、介護保険部員の中から会議への出席者を決める案が出された。  
⇒会議への出席者は佐藤理事に一任し、決まり次第、MLにて報告する。
- 3) 理学療法啓発部（佐藤理事）
  - ・公益法人後のグッズの取り扱いをどうしていくべきか。  
⇒在庫は破棄せず、活用していく。新調するグッズは啓発部で企画し、予算をあげる。総務部では名刺、封筒、クリアファイルを作成する予定。
- 4) 第23回奈良学会準備委員会（田平理事）
  - ・査読は終了し、採用は21演題となった。発表者には採用の返答済みである。
  - ・学会誌の印刷は中谷印刷へ依頼する予定である。

- 5) 第21回公開講座準備委員会（佐藤理事）
- ・7月開催の予定であったが、準備が遅れているため、9月開催とする。
  - ・内容としては、健康増進や年配の方への運動に関する講義を行う予定である。講義だけでなく、簡単な体力測定を講義の前後に行うことも検討している。また、川柳の発表も行う予定で準備を進めている。
- 6) 奈良脳外傷友の会あすか（西田理事）
- ・4/28に奈良脳外傷友の会あすか総会が開催され、総会后、西田理事が脳外傷のご家族を対象に研修会の講師を務めることとなった。
- 7) 奈良県介護実習・普及センター運営委員会（佐藤理事）
- ・3/8に奈良県介護実習普及センターにて、24年度の運営委員会がおこなわれた。今年度も事業については、例年通りの参加者で推移できている。来年度については介護講座の充実を図るため、「住宅改修の実際」と「福祉用具の選び方・使い方」講座を分けて実施する予定である。「福祉用具の選び方・使い方」の講座に関しては、来年度の1月に佐藤理事が講師を務めることとなった。

#### 4. その他

- 1) 特別研修会について（尾崎会長）
- ・総務部事業にて公益性もたない研修会として開催する。講師料や交通費等の経費は確認する。
  - ・案内は各院所と自宅会員へ郵送し、HPにも掲載する。時間の都合上、OT・ST士会へ共催や後援依頼を行っていない。申込み状況に応じて声かけを行っていく。
- 2) 衆議院議員高市早苗さんの政治パーティーについて（尾崎会長）
- ・6/8にシェラトン都ホテル大阪にて開催され、本会よりパーティー券を2枚（1枚：2万円）購入することが決められた。費用は本会から支給し、出席者は検討する。
- 3) 協会総会後の懇親会について（尾崎会長）
- ・懇親会へは尾崎会長、増田理事、西田理事の3名が出席し、費用は本会より支給することが決められた。

以上

## 平成25年度第2回定例（拡大）理事会議事録

日時：平成25年5月18日（土） 16：05～18：15  
 場所：桜井市まほろばセンター  
 出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、西田、  
 廣池、田平、中村  
 部長・委員長：布上、榮崎、岡本、江村、後藤、櫻井、栗本、藤川、小川、福本、中野  
 監事：北村、中俣、門脇  
 書記：中野  
 議事：1. 会長の選出  
 2. 各局・部・委員会報告（今年度事業確認）  
 3. 会長行動報告  
 4. 会員異動承認  
 5. その他

### 1. 会長の選出

- ・尾崎文彦理事が会長に立候補し、理事により互選された。
- ・尾崎会長より、石橋睦仁理事と増田崇理事が副会長に指名され、理事全員に承認された。

### 2. 各局・部・委員会報告（今年度事業確認）

- 1) 財務部（布上部長）

- ・平成25年度収支予算書に関して、公益目的事業会計で計上された予算は使い切るよう税理士より指導を受けた。公益法人としては、黒字を続けると監査で不適切であると指摘を受ける可能性がある。理想は使い切りが望ましいが、5～10%程度の赤字であれば補填可能である。  
 ⇒公益法人1年目は、予算が余っても仕方がない。来年度からは、予算が余らないように、各部・委員会で年間、どのくらい費用がかかるのかを考え、予算立てを行っていく。
- ・各部・委員会の予算は昨年の決算を考慮して、予算を削減している部分がある。
- ・近畿学会分担金、なら介護の日負担金、訪問リハ実務者研修会負担金、理事会等会議費に関しては、部・委員会に入っていない予算であるため、以下の通り、各部に予算を振り分ける。  
 近畿学会分担金：生涯学習部  
 なら介護の日負担金：理学療法啓発部  
 3団体合同訪問リハ実務者研修会負担金：介護保険部  
 理事会等の会議費：総務部

- ・会費未納者リストの入会申し込み提出者（4名）は、入会の申し込みは行っているが、入金を行っていない新入会員で、4/30までに入金を行わないと入会が無効となる。
  - ・各部、委員会において、大幅に予算枠を超える場合や計上していない事業を行う場合は、予算執行権がある理事会へ確認する。少々の予算の増額に関しては、各部・委員長の裁量に任せる。
- 2) 専門領域委員会（榮崎委員）
- ・去年は3万円を県士会からいただいて運営していたが、今年度も同様の運営方法でよいのかどうか。
- ⇒本会より共催という形で協賛金（3万円）を出す。講師料は勉強会から全額支払い、講師が源泉する形とする。また、協会のポイント加算を考慮して、協会へ申請する際は、奈良県理学療法士協会の主催という形で申請する。収支報告は委員会へ提出する。
- 3) 研修部（後藤部長）
- ・研修会を年に4回企画している。4回目の研修会開催時に予算が余った場合、参加費を調整してよいか。
- ⇒研修会の案内を出す前に理事会で決める。
- 4) 介護保険部（櫻井部長）
- ・介護セミナーの開催日時については、調整中である。
- 5) 事務局（増田理事）
- ・公文書の依頼の形式を変更する。
- ⇒内部向け（会の内部事業）に関する公文書の依頼は、廣池理事が担当する。  
外部向け（会と会とのやり取り）に関する公文書の依頼は、増田理事が担当する。
  - ・ロゴマークに関しては、総会での投票の結果を受け、理事会にて決定された。

6) 理学療法啓発部（岡本部長）

  - ・協会への変更を広報したほうがよいか。

⇒他団体にも挨拶状を出していないので、積極的に広報する必要はない。

7) 新プロ、歓迎会について（松村理事）

  - ・回復期の施設では、休日加算をとっているため、日曜や祝日の1日開催では参加が難しいとの意見がある。

⇒どの日に設定しても、会員全員は出席できない。出席しやすい日曜日に設定せざるを得ない。新プロに関しては、出席できない場合は県外での参加を検討してもらう。

### 3. 会長行動報告（尾崎会長）

4/20 会場申請、打合せ

- 4/25 第52回近畿理学療法学会 第19回準備委員会  
/29 会場Pチェック
- 5/1 前衆議院議員山口氏施設訪問 同行  
/1 特別研修会  
/2 前衆議院議員山口氏施設訪問 同行（代：西田）  
/2 前衆議院議員山口氏懇親会  
/7 調整会議  
/8 理学療法啓発部 会議  
/9 県障害者介護給付費等不服審査会  
/15 奈良介護の日2013実行委員会 第1回  
/18 第20回定期総会、定例理事会 第2回

### 4. 会員異動承認

平成25年4月14日から5月18日までの会員異動が理事全員に承認された。

### 5. その他

- 1) 衆議院議員高市早苗さんをみんなで激励する会について（尾崎会長）  
・佐藤理事と中村理事の参加が理事会で決められた。
- 2) 局長の選出について（尾崎会長）  
・事務局長に増田理事、社会局長に佐藤理事、学術局長に石橋理事、広報局長に松村理事が指名され、理事全員に承認された。
- 3) なら歯と口腔の健康づくり条例制定記念シンポジウムについて（尾崎会長）  
・歯科医師会より案内が来たが、新プロと開催日が重なるため、欠席で返答。
- 4) 高の原中央病院40周年式典の案内について（尾崎会長）  
・7/20に開催され、尾崎会長が出席予定。
- 5) 羽生田たかし候補の支援活動について（尾崎会長）  
・日本理学療法士協会は推薦しているが、本会として後援会活動は行わない。
- 6) 太田氏の事務所開きについて（尾崎会長）  
・田野瀬良太郎氏の秘書であった太田氏が奈良市の市議員に立候補する。今後、本会と太田氏との関わりについて検討していく。
- 7) 奈良介護の日2013について（尾崎会長）  
・11/2に開催が決まり、三役は近畿ブロック役員会への出席により参加できない。100年会館で開催され、会場の案内役も設けたいため、3名以上の参加を募りたい。  
⇒廣池理事と中俣監事の参加が決められた。代表は廣池理事が務める。人数が集まらない場

合は啓発部に依頼する。

- ・特別講演への出演希望があれば提案していただきたい。
- 8) 生涯学習部（石橋理事）
  - ・第1回生涯学習担当者会議に徳久部長が出席。協会にて生涯学習機構を作り、生涯学習の総合的な管理を行うことや、分化した学会と連携していくこと、全国的な生涯学習の標準化を進めていく等の話があった。
  - ・新プロに関して、標準スライドは賛否両論あるが、標準化という目的は達成できつつある。内容の精査は随時行っていく。
  - ・新プロの読み替えに関しては、「c 臨床の理学療法」しか読み替えを行わない意向であり、本会も準ずる。
  - ・認定PTは医療広告ガイドラインにのせていくため、専門PTは専門医のような位置づけを目標にしている。
  - ・今後は生涯学習を必須とし、免許の更新制度を導入していきたい。
  - ・研修会・講習会について、講師を認定・専門PTに限定していくと、認定・専門でない著名な講師を呼ぶことが困難になる。
  - ・新しい入退室管理システムについては、同時に複数の新プロを実施する際、一度に入室を管理

できるシステムに変更された。

- ・第1回生涯学習担当者会議の資料については、MLにて掲載する。
- 9) 離床研究会について（松村理事）
  - ・毎回、掲載依頼がくるため、リンクとして掲載する。
- 10) 生涯学習担当者会議について（尾崎会長）
  - ・徳久部長の交通費の請求に関して、全額支給されなかったことに対し、会長名で公文書を出し、質問した結果、事務局長より正式な返答があり、請求通り全額支給されることとなった。
- 11) ニュースの巻頭言について（松村理事）
  - ・5月末締め切り、7月発行分は尾崎会長が担当。
  - ・8月末締め切り、10月発行分は西田理事が担当。
- 12) 理事会の日程について（尾崎会長）
  - ・6月の理事会は三役で相談した結果、開催しないことが決められた。緊急に議題があがれば、平日の夜に開催する予定。
  - ・今後の理事会の日程は7/6、9/7、10/19、11/9、12/7とし、開始時間は14時30分とする。

以上

## (公社)奈良県理学療法士協会 平成25年度 役員名簿

会 長（代表理事）	尾崎 文彦	（東大寺福祉療育病院）
副会長（業務執行理事）	石橋 睦仁	（高の原中央病院）
副会長（業務執行理事）	増田 崇	（奈良県立奈良病院）
理 事	佐藤 豪	（田北病院）
理 事	松村 明子	（西の京病院）
理 事	西田 宗幹	（秋津鴻池病院）
理 事	廣池 裕美	（南和病院）
理 事	田平 一行	（畿央大学）
理 事	中村 貴信	（介護老人保健施設 ウェルケア悠）
監 事	門脇 明仁	（奈良県立奈良病院）
監 事	北村 亨	（奈良県立五條病院）
監 事	中俣 悦雄	（済生会御所病院）

### 〔各局・各部〕

事務局長	増田 崇	（奈良県立奈良病院）
総務部	中野 昌之	（南和病院）
会員管理部	吉田 陽亮	（大和橿原病院）

財務部	布上 芳雄	(橿原市心身障がい児訓練施設 かしの木園)
福利厚生部	細川 彰子	(済生会中和病院)
社会局長	佐藤 豪	(田北病院)
医療保険部	江村 修二	(高井病院)
介護保険部	櫻井 公統	(介護老人保健施設 アップル学園前)
社会福祉部	榮崎 彰秀	(奈良西部病院)
理学療法啓発部	岡本 敦	(天理よろづ相談所病院)
学術局長	石橋 睦仁	(高の原中央病院)
研修部	後藤 総介	(天理よろづ相談所病院)
生涯学習部	徳久謙太郎	(西大和リハビリテーション病院)
学術誌部	岡田 洋平	(畿央大学)
広報局長	松村 明子	(西の京病院)
会誌部	堀口 元司	(大淀町立大淀病院)
ニュース編集部	栗本 尚樹	(奈良県総合リハビリテーションセンター)
ホームページ管理部	赤松 眞吾	(奈良リハビリテーション専門学校)

〔各委員会〕

選挙管理委員会	小川 孝	(奈良春日病院)
第23回奈良学会準備委員会 学会長	田平 一行	(畿央大学)
準備委員長	福本 貴彦	(畿央大学)
第24回奈良学会準備委員会 学会長	中村 貴信	(介護老人保健施設 ウェルケア悠)
準備委員長	榮崎 彰秀	(奈良西部病院)
表彰審査委員会	堀口 元司	(大淀町立大淀病院)
新人研修委員会	和田 善行	(平成記念病院)
第21回公開講座準備委員会	佐藤 豪	(田北病院)
専門領域委員会	田平 一行	(畿央大学)
ブロック活動推進委員会	藤川 和仁	(大和橿原病院)
奈良マラソンメディカルサポート委員会	福本 貴彦	(畿央大学)
法人設立20周年記念事業準備委員会	西田 宗幹	(秋津鴻池病院)

〔公的委員会〕

奈良県医療推進協議会	尾崎 文彦	(東大寺福祉療育病院)
なら介護の日2013実行委員会	尾崎 文彦	(東大寺福祉療育病院)
奈良県障害者介護給付費等不服審査会	尾崎 文彦	(東大寺福祉療育病院)
奈良県介護実習・普及センター運営委員会	佐藤 豪	(田北病院)
3団体合同訪問リハビリテーション 実務者研修会運営委員会	佐藤 豪	(田北病院)
奈良県高次脳機能障害 リハビリテーション講習会実行委員会	西田 宗幹	(秋津鴻池病院)
高次脳機能障害支援体制検討委員会	松村 明子	(西の京病院)

〔その他〕

(公社) 日本理学療法士会協会 代議員	尾崎 文彦	(東大寺福祉療育病院)
(公社) 日本理学療法士会協会 代議員	石橋 睦仁	(高の原中央病院)
(公社) 日本理学療法士会協会 代議員	増田 崇	(奈良県立奈良病院)
(公社) 日本理学療法士会協会 代議員	西田 宗幹	(秋津鴻池病院)

## 会員数・施設数動向

平成25年9月10日現在

	施設数	会員数
施設会員	136	865
自宅会員	.....	107
総会員数	972名	

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

## 賛助会員一覧

(株) 日本メディックス	564-0044	吹田市南金田町2-12-18	06-6369-1201
(株) 富金原義肢製作所	571-0039	門真市速見町2101	06-6909-6528
(有) カンサイ義肢	571-0048	門真市新橋町29-1	06-6908-0911
(有) ウィンド	630-0211	生駒市桜ヶ丘5-29	0743-75-3887
(株) 奈良義肢	630-8435	奈良市西九条3-2-23	0742-62-7979
奈良ニッセイエデンの園	636-0071	北葛城郡河合町高塚台1-8-1	0745-33-2222
(株) イカリトンボ、ケアホープ	636-0154	生駒郡斑鳩町竜田西4-1-40	0745-75-2028
テクノブレース	636-0247	磯城郡田原本町阪手13-7	07443-2-5893
(株) 川村義肢エイドセンター奈良	636-0343	磯城郡田原本町大字秦庄432-15	07443-2-8891
ツザキ・ケア・ブレイス	636-0347	磯城郡田原本町新木1-141	07443-3-3678
(株) 大床義肢	639-1045	大和郡山市小林町西1-4-7	0743-56-8944
山一株式会社	550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-11 金鳥土佐堀ビル5階	06-6447-5924

## 【地域包括ケアシステム・プロジェクトメンバー募集】

“急性期から在宅へ” 10年後スタンダードとなる在宅回復期システムの構築を目指して！  
『非日常から Re: 日常へ』 在宅自立のために、自宅と施設、地域を連携・融合をさせて  
最後まで自宅で自分らしく安心して暮らせる地域環境創りを一緒に考えて見ませんか？

募集人員：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

勤務先：★いこいの家訪問看護ステーション。

★リハビリ特化型地域密着型小規模多機能事業所 いこいの家 26 (2012年4月開設)

★まちの保健室：地域相談室、サテライト型リハビリセンター (開設準備中)

●各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい



いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川  
〒630-0243 奈良県生駒市俵口町814番地1 ハイネス生駒302号  
TEL：0743-70-8300 e-mail：ikoi@kcn.jp http://lifecare.jp/  
施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中



## ♪ 理学療法士・作業療法士急募！資格を活かしてご協力を♪



社会福祉法人 三養福祉会 リハビリデイサービス 橿原の郷

【雇用形態】常勤、非常勤

【給与】

・常勤

基本給(月額 230,000円)、業務手当(月額 20,000円)

通勤手当(月額 上限15,000円まで) 賞与(年3回 計約3.5ヶ月分)

【営業日】月曜日～金曜日

・非常勤

時給(1,500円)、通勤手当(月額 上限15,000円まで)

【勤務時間】

常勤 9:00～18:00

非常勤 9:00～18:00の間で相談に応じます(勤務日数も相談に応じます)

【業務内容】

生活相談員・介護職員と共に各利用者のリハビリ計画を作成、各利用者の計画を基にリハビリ機器やマッサージ器などを使用した機能訓練の実施、リハビリ実施後の記録業務などを行っていただきます

【アクセス】 近鉄大阪線 真菅駅下車徒歩約20分、近鉄橿原線新ノ口駅下車徒歩約20分

【応募方法】 下記のお問合せ先までお電話を頂くか、履歴書を送付してください♪

【お問合せ先】 橿原の郷 (奈良県橿原市飯高町7-1 TEL：0744-21-1111) 担当：叶(かのう)